



柵津御堂ワインだより

NETSU MIDO

VOL.05

発行/2021年12月1日 発行者/御堂地域活用構想推進協議会 会長 別府 英宣
(協議会事務局: 東御市6次産業化推進室 電話: 0268-75-2016)

柵津御堂地区の今についてお知らせします

臨時総会を行いました ~協議会において部会制を導入します~

11月中旬、書面決議による臨時総会を行いました。

その中の決定事項として、今後スムーズに協議会を運営し意思決定の迅速を図り、御堂地域の有効活用を進めていくため ①施設検討・運営部会 ②地域産物販売部会 ③イベント・情報発信部会 の3つの部会を設けることになりました。

今後、各部会の活動内容について、検討してまいります。

生産者紹介⑤

地元の方々に楽しんでいただけるワインを作りたい

Yone Farm Tomi (ヨネファーム東御) 米倉 利典 さん

●ワイン造りを志したきっかけを教えてください。

大学時代、ワインに詳しい先輩の影響を受けワインに魅了されました。ワイン文化が根付いている欧米を旅して、各地のワインを味わっていました。いつか、自分の手でワインを作りたいと思っていたところ「千曲川ワインアカデミー」と「信州うえだファーム」の存在を知りました。「これだ!」と思い、本格的にワイン作りを目指すことを決めました。



Yone Farm Tomi
フェイスブックやインスタグラム
で情報発信中。

●柵津御堂ワイン用ブドウ団地はどんな存在ですか？

このような広大な場所で栽培できることを幸せに思っています。見渡す限りブドウの木が植わり、心地良い風が吹き、雄大な景色が広がるこの場所が大好きです。

この団地が完成するまで様々な困難があったと思います。地元の方々を始め、このプロジェクトに携わった方々に本当に感謝しています。

現在は10以上の品種を植えていますが、それぞれの品種の個性を引き出すことができると思っています。

●御堂の将来像をどのように描かれていますか？

まずは、ここに多くの人々が集うような場所にして、美しいワイン畑を見ていただきたいです。そして、ほかにも生産者の方々がいますが、それぞれの個性的なワインを味わっていただけるような場所にしていきたいと考えています。

●地元の方々へのメッセージをお願いします。

地元の方々や関係者のご協力があるの、この団地だと思っています。その地元の方々に、楽しんでいただけるようなワインを作りたいです。

是非、気軽に御堂に遊びにきてください。

聞き手: 米田直人 (東御市地域おこし協力隊・ワイン&ピアミュージアムコンシェルジュ)